

国際シンポジウム 特許をめぐる欧州と日本の最新事情
－講演・パネルディスカッション・ドイツ模擬裁判－

<プログラム>

10:00- 開会

10:05-10:15 開会の挨拶

岩井 良行 特許庁長官

10:15-12:00 第1部 講演の部

モデレーター：片山 英二 弁護士（阿部・井窪・片山法律事務所）

10:15-10:45 基調講演1

講演者：飯村 敏明 知的財産高等裁判所 所長

「複数の者の関与と特許の権利行使を巡る問題」

10:45-11:15 基調講演2

講演者：Klaus Grabinski 判事（ドイツ連邦最高裁判所）

“Securing evidence by inspection measures in patent cases – German approach”

（特許訴訟における検証による証拠保全について－ドイツにおける手法）

11:15-11:45 基調講演3

講演者：Christopher Heath 審判官（ヨーロッパ特許庁）

“Exceptions to Patentability under the European Patent Convention”

（欧州特許条約の下での特許性の例外について）

11:45-12:00 質疑応答

12:00-13:30 休憩／昼食

13:30-15:15 第2部 パネルディスカッション

テーマ「新規性、進歩性判断における日欧の一致点・相違点」

モデレーター：奥山 尚一 弁理士（久遠特許事務所）

パネリスト：Christopher Heath 審判官（EPO）

Christof Karl 弁護士・弁理士（Bardehle Pagenberg）

塩月 秀平 判事（知的財産高等裁判所部総括判事）

今村 玲英子 審判長（特許庁）

川田 篤 弁護士（新橋綜合法律事務所）

相田 義明 弁理士 (相田特許事務所)

三村 まり子 弁護士 (Novartis Holding Japan K.K. 取締役法務知的財産統括部長)

15:15-15:45 休憩

15:45-17:00 第3部 ドイツ模擬裁判と解説

—BGH 2011.5.10 判決 (Occlusion Device 事件) を題材に—

Part 1 模擬裁判

Klaus Grabinski 判事 (ドイツ連邦最高裁判所)

Christian Lederer 弁護士 (Taylor Wessing)

Dirk Schüßler-Langeheine 弁護士 (Hoffman Eitle)

Part 2 解説と討論

モデレーター: 三村 量一 弁護士 (長島・大野・常松法律事務所)

パネリスト: Klaus Grabinski 判事 (ドイツ連邦最高裁判所)

Christian Lederer 弁護士 (Taylor Wessing)

Dirk Schüßler-Langeheine 弁護士 (Hoffman Eitle)

東海林 保 判事 (東京地方裁判所部総括判事)

17:00 閉会